

月	8			9			10			11			12			1			2			3			4			5			6			7		
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下					

**秋まき** 後片付け 次作準備

**主な管理作業**

- 播種**
  - 全自動播種機で播種 488穴セルトレイ(2時間/10a) ※JAからリース可能
- 本圃づくり**
  - ①堆肥散布 ②基肥散布 ③全面耕耘 ④畝立て
  - 超粉砕ロータリによる畝立て(9時間/10a) ※JAからリース可能
- 定植**
  - 歩行型全自動移植機による定植(12時間/10a) ※JAからリース可能
- 追肥**
  - 雪解け後、3月下旬までに1~2回
- 病害虫防除**
  - ブームスプレイヤによる薬剤散布(×7回)
- 収穫・調整・乾燥**
  - 歩行型掘取機,歩行型ピッカーによる収穫(24時間/10a)
  - 全自動調整,選別機による調整,選別(27時間/10a)
  - 乾燥施設での乾燥
  - 時期をみて収穫を終了し片付ける ※JAからリース可能

**畝のすがた**

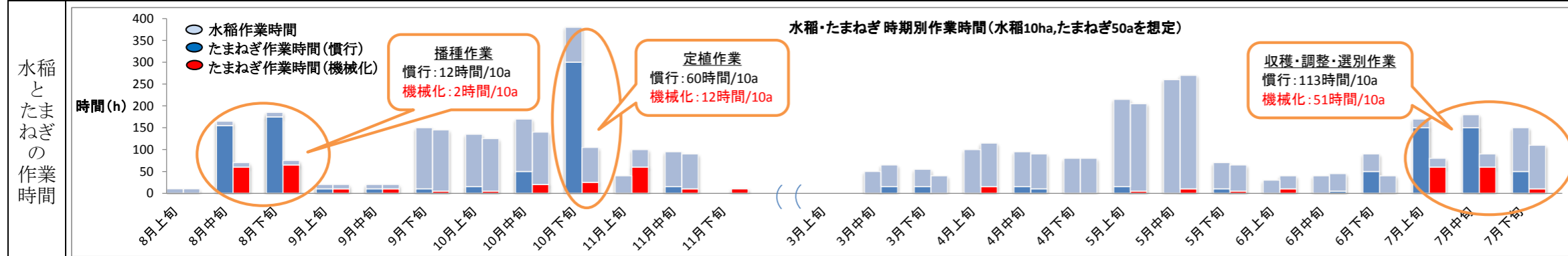
**除草機による除草** (15時間/10a)

(株が成長し,除草機が入れなくなったら手作業での除草)

ハイクリトラクタに装着した除草機 | 汎用田植機に装着した除草機

全自動調整・選別機

雑草防除時期	一年生雑草,広葉雑草防除 (定植後,ブームスプレイヤ)	一年生雑草,広葉雑草防除 ※キユウホーの除草機	一年生雑草,広葉雑草防除 (雪解け後,速やかに) ※キユウホーの除草機	一年生雑草,広葉雑草防除	
害虫防除時期	ネキリムシ類防除	ネキリムシ,タネバエ防除	アザミウマ類防除		
病害防除時期	<b>予防防除を中心とする</b> ベト病,白色疫病防除 苗立枯病	白色疫病,ベト病防除 灰色かび病,灰色腐敗病防除	白色疫病,ベト病防除 軟腐病防除	ベト病防除 軟腐病防除	ベト病防除 灰色かび病,灰色腐敗病防除



集落営農で取り組む場合の想定規模と人数

	栽培面積	主要作業者	従事作業者
想定規模	50~70a	5~7名	10~15名

機械化栽培をすることで、  
**軽労化・規模拡大**  
することができます！！

**生育管理等の確認事項**

- ~育苗のポイント~**
  - 種子は3万粒/10a, 品種はネオアース(覆土)
  - 発芽条件20℃前後, 暗所, 適湿
  - 剪葉は20cm程度を目安に行う。
  - 2葉期以降は週1回追肥。
- ~ほ場づくりのポイント~**
  - 排水の悪いほ場は弾丸暗渠や明渠を掘る。
  - 畝は可能な限り真っ直ぐ立てる。→曲がると後の機械作業で不具合。
  - 定植前に殺虫剤散布。
- ~定植時のポイント~**
  - 前日に苗にかん水, 17cmに剪葉。
  - 葉鞘部の半分までを土の中に埋める。
  - 定植後, 活着を確認, 除草剤を散布。
- ~栽培管理のポイント~**
  - \* 病害虫
    - 白色疫病, ベト病等の病気は予防剤の定期散布で防除。
    - アザミウマ等の害虫は定期的に観察し, 見つけ次第防除。
  - \* 施肥
    - 4月以降は施肥しない。
  - \* 除草
    - 機械除草は3月と4月に行う。
    - 5月以降は手取りも検討する。
- ~収穫のポイント~**
  - 茎葉が倒伏して首が少し柔らかくなった晴天に収穫する。
  - 乾燥施設に収容する前に調整機で根と葉を切り落とす。葉がいたままだと腐敗の原因に。

**10aあたりの土壌改良資材の例**

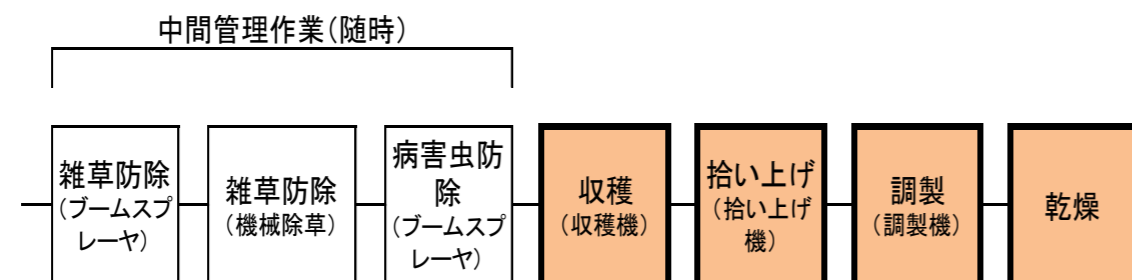
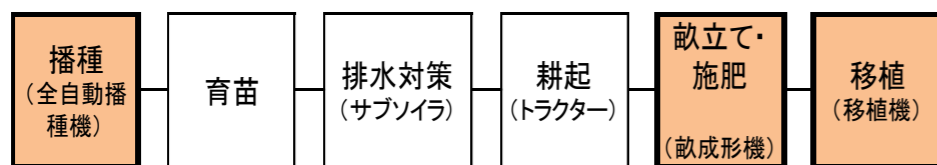
資材	普通畑	畑地化した転作田	畑地化していない転作田
完熟堆肥	2~3t	3~4t	4~5t
苦土石灰	120~150kg	150~200kg	250~300kg
苦土重焼燐	40kg	40~50kg	40~60kg

**本畑への施肥例**

肥料名	総量 (Kg)	元肥 (Kg)	追肥 (Kg)			成分量 (Kg)		
			11月中旬	2月中旬	3月中旬	チッソ	リン酸	カリ
MMB 燐加安14号	70	70				9.8	7	9.1
CDU 複合燐加安S555	30	30				4.5	4.5	4.5
燐加安加里S604	60		20	20	20	9.6	6	8.4
肥料成分						23.9	17.5	22

## ○作業体系と経営指標例

### ・提案する作業体系



■: 枠内の工程に使用する機械は今回の取組期間内に導入・整備されたもの  
これらの機械はJAのリースで部会員が使用できます。

### ・たまねぎ経営指標例(集落営農の場合)

(円/10a)

項目	
4,000kg×@75円×1.08 収量×単価×税	324,000
<b>粗収入</b>	<b>324,000</b>
種苗費	35,832
肥料費	49,048
薬剤費	22,856
諸材料費	13,029
動力光熱費	16,048
農機具費(減価償却費等)	20,505
機械等借り上げ料	25,000
租税公課	2,678
建物及び施設費	1,982
出荷販売経費	32,400
その他(保険料)	6,480
<b>経営費</b>	<b>225,858</b>
農業所得(円/10a)	98,142
労働時間(時間/10a)	97
所得率(10aあたり)	30%

収量: 4.0t/10a 販売価格: 75円/kgで試算  
※機械等借り上げ料はJAからリース可能な機械を  
すべて使用した場合の料金で試算しました。

たまねぎ栽培暦  
平成28年2月作成  
宮城県大崎農業改良普及センター

## たまねぎ機械化栽培暦

～省力たまねぎ栽培に取り組んでみませんか?～



加美よつば農業協同組合

宮城県大崎農業改良普及センター